



大崎町で開催された曾於地区総合防災訓練での自主防災活動

# 自主防災 パンフレット作成 92万円

火災や大規模災害時の自主防災のポ  
イントを示したパンフレット作成や避  
難場所案内等の看板を設置することに  
なりました。これらの費用については、  
県から地域振興推進事業補助金が2分  
の1助成されます。

本町の自主防災組織率は、平成19年  
4月1日現在で17%ですが、全国平均  
70%、鹿児島県平均61%となっており、  
本町の組織率はだいぶ低く、今後モデ  
ル集落等を指定しながら、組織率の向  
上に努めます。

## 反問権

# 否決

この議案は、中山美幸・栢山正木・  
中倉広文の三議員より発議されたもの  
で、審議の中で町長などの行政執行者  
が議員に質問の趣旨、本意などを質問  
できるよう規則の中に条文化すること  
を求めているもので、議会運営委員会  
(鮫島春男委員長)に付託されていた  
議案である。本会議において中山議員  
より少数意見、小野光夫議員より反対  
意見が述べられ、採決の結果、賛成3  
(中山・栢山・中倉広) 反対12(諸木・  
神崎・宮本・岩田・坂元・吉原・中倉毅・  
鮫島・後迫・長重・小野・上原)で否  
決となった。

## 【少数意見】中山美幸議員

議論とは、互いに自分の説を述べ合  
い、論じ合うこと、意見を戦わせるこ  
と、またその内容を論じ合うことであ  
る。行政担当者は質問された時だけ答  
えるだけでは、議会本来の議論になり  
えない。そこで、行政担当者も意見を  
述べたり、議員の対案を確認できる反  
問権を与えるべきである。

## 【反対討論】小野光夫議員

一問一答方式に変えて久しい。また、  
運用面においては議論されていない。  
反問権は本会議だけなのか。何回でも  
できるのか。委員会でも行使できるの  
かなど細部の検討がなされていないな  
ど、今後議論し議員の意見の一致を見  
た上で決すべきであり反対である。

## 公共下水道事業

### 特別会計補正予算

380万9千円を追加

【総額5億3145万6千円】

日本下水道事業団に委託している大  
崎クリーンセンター建設工事(土木・  
機械・電気)の変更協定で、工事執行  
残により、現協定額の3億3400万  
円が4000万円の減額となり、  
2億9400万円となりました。  
減額となった4000万円は、他の  
執行残と合わせて公共下水道汚水管建  
設工事へ組み替えることになりました。

## 大崎クリーンセンター執行残 4,000 万円の内訳

単位：円

工事名	請負業者	設計額	請負額	執行残	落札率
大崎クリーンセンター 水処理設備工事	サーンエンジニアリング(株)	1億1,414万5,500	9,464万7,000	1,949万8,500	82.9%
大崎クリーンセンター 建設工事	山下・サカモト特定建設 共同企業体	1億5,880万2,000	1億4,125万6,500	1,754万5,500	89.0%
大崎クリーンセンター 電気設備工事	神鋼電機(株)	4,260万9,000	4,252万5,000	8万4,000	99.8%
事業団管理諸費	日本下水道事業団	1,844万3,500	1,557万1,500	287万2,000	84.4%
合計		3億3,400万	2億9,400万	4,000万	88.0%